




親んでいるくすりが違っても、
人の役に立ちたい気持ちは同じでした。




 中国 北京市
中国リハビリテーション研究センターにて研修
薬学部 薬学科2年
飯島 梨裕さん
山梨県 駿台甲府高等学校出身

漢方薬の知識を深めたいと思い、研修に参加しました。現地では多くの漢方薬が使われており、実際に処方せんをもとに調剤を体験させてもらいました。日本と異なる漢方薬の存在感や受け入れられ方を知る一方で、現地で働く薬剤師の方々の仕事ぶりに刺激を受けました。中国で漢方医学の理念や生薬について学んだことは、帰国後の授業への意欲と理解の助けにつながりました。



文化や習慣の違いを体験して、
視野が広がりました。




 ベトナム ホーチミン市
ホーチミン市医科薬科大学ほかで研修
小田原保健医療学部 作業療法学科3年
岩居 洋輝さん
福井県立武生高等学校出身

発展途上国の医療・保健事情を知ることで、日本の優れた点や国際的に貢献できることがわかるのではないかと思います。研修に参加しました。さまざまな施設を見学したり、現地の医療を体験したり充実した研修でした。ベトナムでは作業療法士の存在が医療関係者にも浸透しておらず、日本のシステムや技術を広めることで、大きくリハビリ技術が進歩すると感じました。

世界の医療福祉について、私たちが見たこと、感じたこと。

患者さんを安心させる笑顔は、
世界共通です。




 ミャンマー ヤンゴン市
ヤンゴン看護大学ほかで研修
福岡看護学部 看護学科4年
太島 美咲さん
鹿児島県立大島高等学校出身

ミャンマーは地方にほとんど病院がありません。交通整備も不十分で病院に行くことさえ難しいことや、日本の病院に比べるとまだまだ衛生面に課題があるとわかり、医療環境をはじめ生活基盤の向上が必要だと感じました。また、語学力と同じくらい笑顔やジェスチャーの大切さに気づくことができたのも収穫です。日本で患者さんと接する時にも意識しようと思っています。

コミュニケーションの基本は
積極性だと実感。



 アメリカ ハワイ州
ハワイ大学カピオラニ・コミュニティカレッジにて研修
福岡保健医療学部 言語聴覚学科3年
平山 麟太郎さん
長崎県 長崎日本大学高等学校出身

ハワイ大学カピオラニ・コミュニティカレッジでの語学研修では、英語でのコミュニケーション能力の向上に積極的に取り組みました。会話力の向上とともに、わからないことは聞く、自分の考えを伝えるといった基本的な姿勢が身につきました。施設見学では、医療サービスに格差が存在する状況を目の当たりにし、医療のあり方について考える良い機会となりました。

